

ペール缶・一斗缶内蔵式エアプレッシャポンプ

取扱説明書

■APP-C シリーズ

- ・ APP-C-AL
- ・ APP-C-SUS
- ・ APP-C-PP



もくじ

1	安全上の注意
2～4	ご使用になる前に
5	各部の名称
6	ご使用方法
7	仕様表
8	保証・アフターサービス

安全上の注意

- ・この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。
ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法を理解してください。
(誤った使用方法是事故等の原因となります。)
- ・取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいてください。

危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が
想定される内容を示します。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が
想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生
が想定される内容を示します。

ご使用になる前に

危険



★液の取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。

使用する液体については、液の取扱説明書を十分にお読みの上、正しくご使用ください。



★液に被爆したときは適切な対応をしてください。

液に被爆(誤って飲用した、皮膚に接触した等)した時は、液の取扱説明書に従い、適切な処置を行うか、医師の診断を受けてください。



★火気厳禁でご使用ください。

爆発の危険性のある液体・場所では、必ず本体及びノズルにアースを取り付けてください。爆発・引火・火災の原因になります。火気厳禁でご使用ください。



★レギュレータの分解・調整は行わないでください。

レギュレータ(減圧弁)及び、安全弁は調整済ですので、分解・調整はしないでください。



★吐出中にホースの先端を液面に入れないでください。

液体を吐出している時は、ホースの先端を液面に入れないでください。タンク内の液体が少なくなった時に空気を吐出して、液体を吹き上げるおそれがあります。



★タンク内の圧力を大気圧まで減圧してください。

作業終了時は必ずエアバルブを閉じてください。また、エア抜きバルブを開きタンク内の圧力を大気圧まで減圧してください。

この時、残圧があると蓋や液体が飛び出し非常に危険ですので、必ず圧力計が0になっていることを確認してください。

★タンク内の圧力は 0.3Mpa 以下で使用してください。

安全弁が 0.45~0.5Mpa で作動します。安全弁が作動した場合には速やかに、吐出・エア注入を中止し、一度減圧後、レギュレータにて 0.3Mpa 以下になるようにタンク内圧力を調節してください。

警告



★安全な場所で使用してください。

幼児・子どもが触れない様、安全な場所で使用してください。



★医師の診断を受けてください。

使用中、体調が悪くなったときは、すぐに医師の診断を受けてください。



★保護服を使用してください。

液の取扱説明書に従い、保護服を使用してください。



★分解や修理・改造は絶対に行わないでください。

通常時には、修理技術者以外の人、分解や修理・改造は絶対に行わないでください。



★新しい液を使用してください。

液体を替える時は、必ず前の液を完全に拭いて、洗浄してから、新しい液を使用してください。液体が混ざると、化学反応を起こす場合があります。

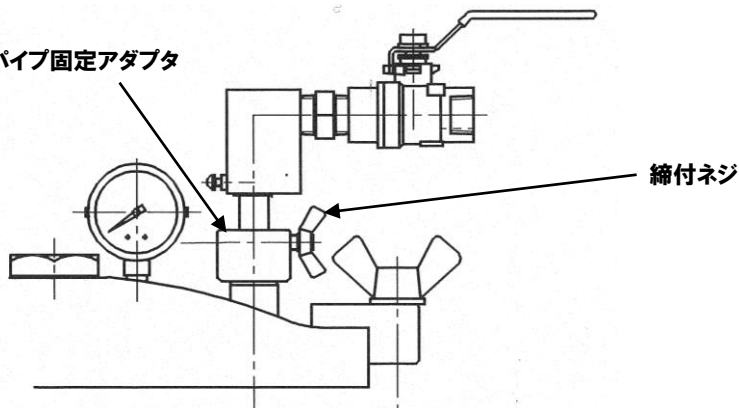
(APP-C-AL ご使用の場合)

★加圧中に吐出パイプ固定アダプタの締付ネジを緩めないで下さい。

タンク内に圧力がかかった状態で、吐出パイプ固定アダプタの締付ネジを緩めないで下さい。パイプ内にも圧力がかかっている為、緩めると約 6cm 上部へ飛び出します。

内部は止め輪で固定しており、完全に飛び出ることはありませんが注意して下さい。

吐出パイプ固定アダプタ



注意



★点検・修理をご依頼ください。

作動しなくなったり、異常がある場合は事故防止の為、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。そのまま使用されますと、事故やけがの原因になる恐れがあります。



★本体に衝撃を与えないでください。

各部が正常に作動しなくなる恐れがあります。また、故障や液漏れの原因になります。



★使用後は必ずポンプ内部の液体を抜き出してください。

ポンプ内部に残液があると、ポンプ内部にサビ付き等がおこり、故障や性能不良の原因となります。

★圧縮空気の中の水分を取り除いてください。

水分を嫌う液体を扱う場合、圧縮空気の中の水分をエアドライヤー等で取り除いてください。

★ホース・ノズルをしっかり握ってご使用ください。

低粘度液体の吐出時は、液体が勢いよく出るため、強い抵抗があります。

ホース・ノズルをしっかり握ってご使用ください。

★エア注入バルブを閉じてください。

作業終了後は必ずエア注入バルブを閉じてください。

★タンク上面から 5cm より上にいれないでください。

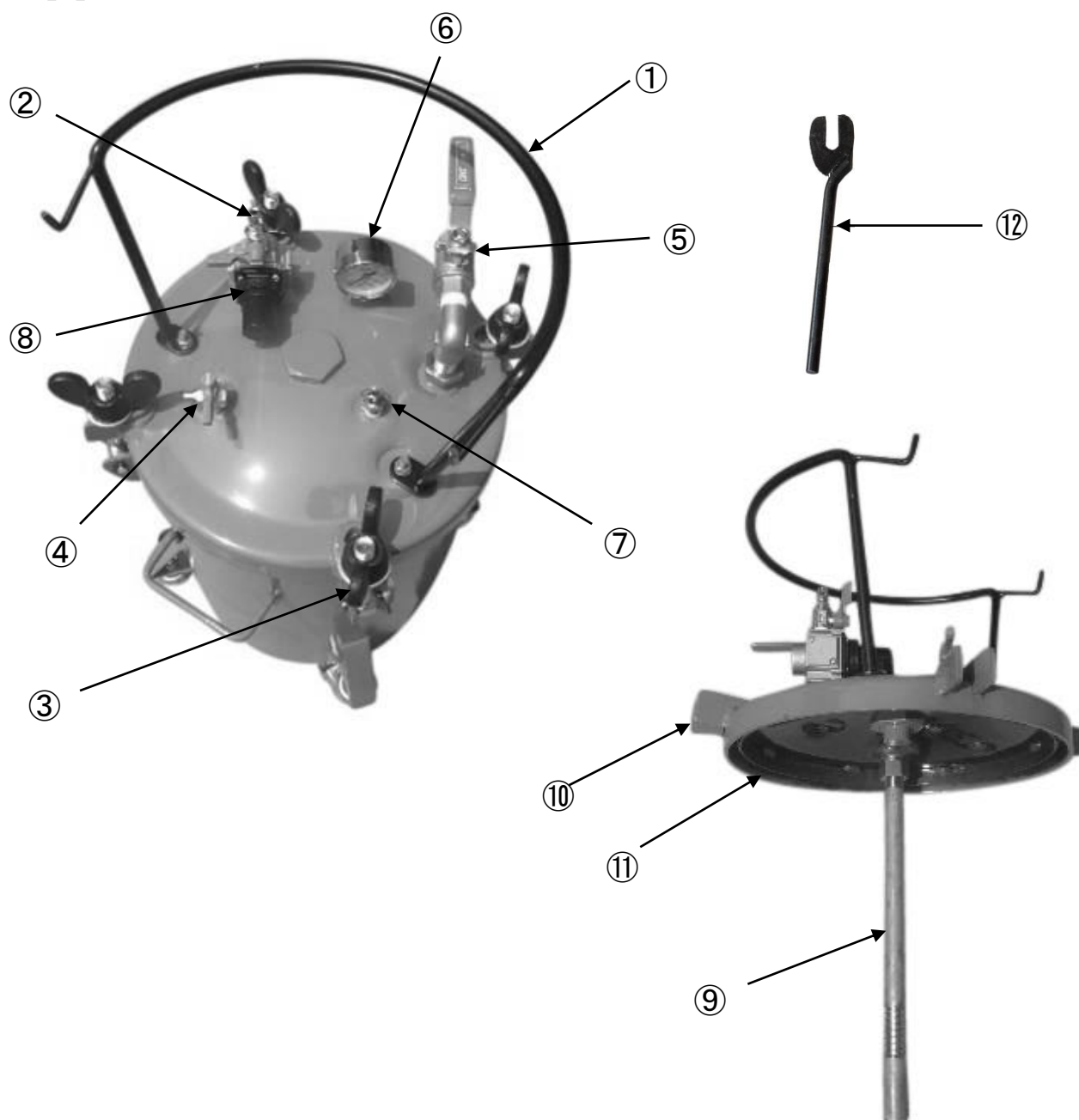
タンク内に直接液体を入れる場合は基準線(タンク上面から 5cm)より上にいれないでください。

★蓋は、蝶ナットを均等な力でしっかり締めて取り付けてください。

漏れや、破損の原因になります。

本書を紛失、損傷した場合には当社または、販売店に発注してください。

各部の名称



①	保護棒	⑦	安全弁
②	エア注入バルブ	⑧	レギュレータ
③	蝶ナット	⑨	吸入パイプ
④	エア抜きバルブ	⑩	蓋
⑤	吐出バルブ	⑪	Vパッキン
⑥	圧力計	⑫	専用スパナ

※イメージは「APP-C-SUS」ステンレスタイプです。

ご使用方法

1. ご使用前に、必ず仕様（接液部・パッキンの材質）と、使用可能液体をご確認ください。
（P7 仕様表 参照）
2. ③**蝶ナット**を緩めて ⑩**蓋**を開け、液体を缶ごと中に入れ、缶の口に合わせて⑨**吸入パイプ**を入れます。
3. ⑩**蓋**をタンクに被せ、③**蝶ナット**を均等な力でしっかり締めて取り付けてください。
（⑫**専用スパナ**を使用してください。）
4. ⑤**吐出バルブ**をホースに対して垂直にして閉じます。
5. ②**エア注入バルブ**をカプラに対して垂直にして閉じます。
6. ④**エア抜きバルブ**を閉じます。
7. カプラにコンプレッサーの空気口を接続します。
8. ②**エア注入バルブ**を開き、ドラム缶内に圧縮空気（1MPa 以下）を送り込みます。
圧力計が上がっていきます。このとき、0.3MPa 以下であることを確認してください。
※0.45～0.5MPa 以上になると⑦**安全弁**が作動します。
⑦**安全弁**が作動した場合には速やかに吐出を中止し、一度減圧後、⑧**レギュレータ**にて 0.3MPa 以下になるようにタンク内圧力を調節してください。
9. ⑤**吐出バルブ**を開くと液体が吐出します。
10. ⑤**吐出バルブ**を閉じると吐出は止まります。
11. 使用後は②**エア注入バルブ**を閉じ、エアの供給をストップします。
12. ④**エア抜きバルブ**を開いてタンク内の圧力を大気圧まで下げます。
このときバルブからタンク内のエアが一気に出てきますのでご注意ください。
13. 圧力計が 0 になったことを確認し、③**蝶ナット**を緩めて ⑩**蓋**を外してください。

この時、残圧があると、蓋や液体が飛び出し非常に危険ですので、必ず圧力計が 0 になっているかを確認してください。

仕様表

- ・ 使用可能粘度：5,000cP 以下
- ・ 最大吐出量：50 (L/min)
- ・ 最大揚程：30m
- ・ 重量：23kg

型式	材質			使用可能液体
	本体	接液部	パッキン	
APP-C-AL	スチール	AL	NBR	灯油・軽油・オイル
APP-C-SUS		SUS	フッ素ゴム	ガソリン・酸・アルカリ・溶剤
APP-C-PP		PP		酸・アルカリ

保証・アフターサービスについて

この度はアクアシステム製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品管理には万全を期しておりますが、万一、本製品が故障した場合の保証範囲は、次の通りです。

1. 修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番・製造番号・ご購入日などをご確認のうえ、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 下記の場合、ご購入の日から12か月以内であれば、無償にて修理・調整を行います。

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。

※ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。

※また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し交換が必要と判断した部品については有償とさせていただきます。

3. なお、期間外や5項の免責範囲に記載の事項については有償扱いとなります。

また、当社純正部品以外を使用した場合のクレーム及び修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。（他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。）

4. いずれの場合でも、サービスセンターへの送料、また返送費はお客様負担となります。

5. 免責範囲（保証期間内でも次に該当する場合は有償となります）

（ア）誤った取扱い（取扱説明書と異なるご使用）により生じた故障。

（イ）弊社以外で修理・分解・改造されたことによる故障。

（ウ）保管上の不備や手入れの不備による故障。

（エ）購入年月日を証明する書類がない場合（納品書・請求書等）

（オ）使用頻度が著しく多い場合の部品の消耗。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてのご不明な場合は、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》
アクアシステム株式会社
【修理受付係】 Tel 0749-47-5215

メモ

メモ

AQUA アクアシステム株式会社
SYSTEM CO.,LTD. ☎ 0749(47)5215
FAX 0749(28)1474

〒522-0058 滋賀県彦根市須越町1190

E-mail aqua@aqsys.co.jp

<http://www.aqsys.co.jp/>